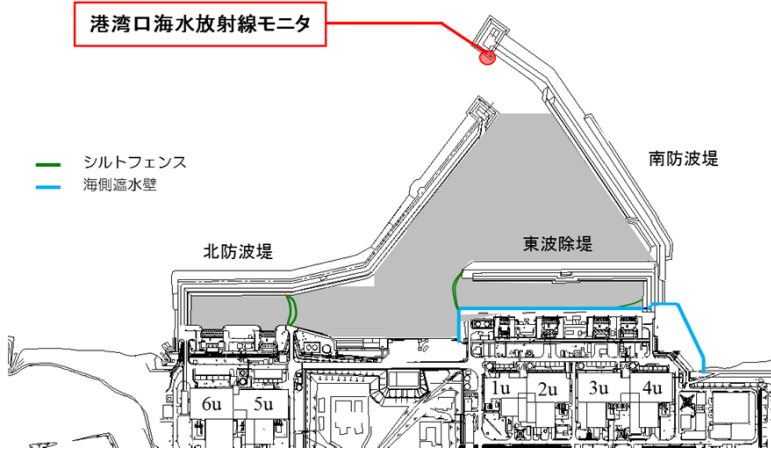
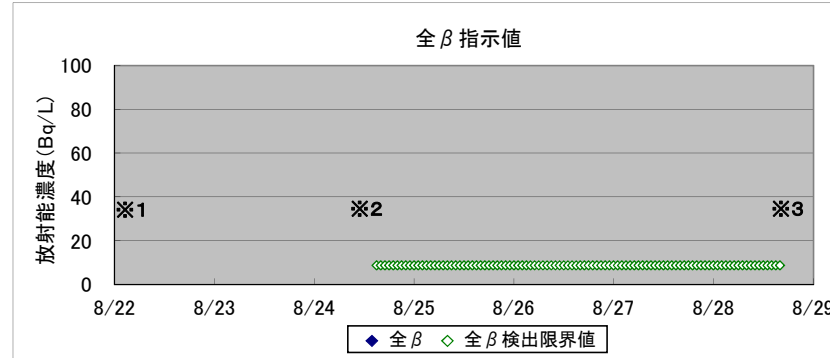
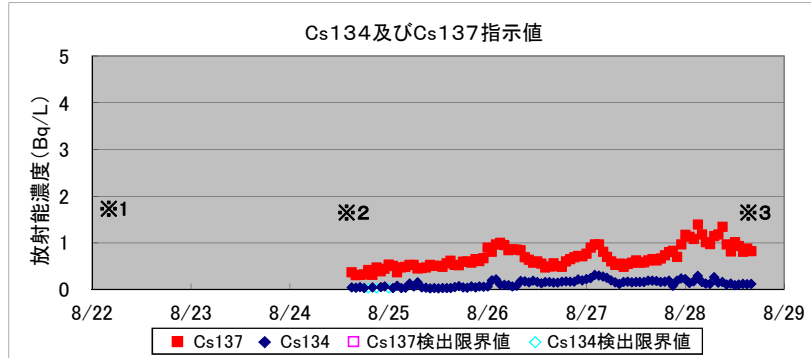


港湾口海水放射線モニタ指示値 (2016年8月22日 ~ 2016年8月28日 分)



(単位:Bq/L)

日時	全β	Cs134	Cs137
2016/8/28 0:00	ND	0.23	1.17
2016/8/28 1:00	ND	0.14	1.13
2016/8/28 2:00	ND	0.18	1.08
2016/8/28 3:00	ND	0.29	1.39
2016/8/28 4:00	ND	0.16	1.18
2016/8/28 5:00	ND	0.13	1.01
2016/8/28 6:00	ND	0.12	0.97
2016/8/28 7:00	ND	0.27	1.14
2016/8/28 8:00	ND	0.15	1.18
2016/8/28 9:00	ND	0.17	1.34
2016/8/28 10:00	ND	0.11	0.96
2016/8/28 11:00	ND	0.13	0.81
2016/8/28 12:00	ND	0.10	1.01
2016/8/28 13:00	ND	0.11	0.93
2016/8/28 14:00	ND	0.12	0.81
2016/8/28 15:00	ND	0.11	0.88
2016/8/28 16:00	ND	0.13	0.82
2016/8/28 17:00	—	—	—
2016/8/28 18:00	—	—	—
2016/8/28 19:00	—	—	—
2016/8/28 20:00	※3	—	—
2016/8/28 21:00	—	—	—
2016/8/28 22:00	—	—	—
2016/8/28 23:00	—	—	—
平均値	ND	0.15	1.05

NDは検出限界値未満を表す。

<備考>

(検出限界値 Bq/L)

- ・セシウム(Cs)134 : 0.02
- ・セシウム(Cs)137 : 0.05
- ・全β : 8.7

(注)海水放射線モニタは、荒天により海上が荒れた場合、巻上がった海底砂の影響等により、データが変動する場合があります。
また、β線モニタについては、ストロンチウム90のモニタリングを目的としていますが、現状ストロンチウム90のみを連続測定する事は難しい為、海水中に存在するβ線を放出する全ての核種を測定しております。
ストロンチウム90は、これまでの分析結果で1Bq/L以下の低いレベルとなっておりますので、全β放射能の値は、通常天然核種であるカリウム40(十数Bq/L)の影響を受けております。

※1:8月20日15:00~8月24日14:00については、取水ポンプの停止(ストレーナ差圧高)により欠測しております。

※2:海上の状況悪化により復旧作業が遅延しておりましたが、ストレーナ清掃後、取水ポンプを起動し、8月24日15:00以降測定を開始しております。

※3:8月28日17:00以降については、取水ポンプの停止(ストレーナ差圧高)により欠測しております。今後海上の状況を確認しながら、復旧作業を実施します。

(参考)

東京電力株式会社福島第一原子力発電所原子炉施設の保安及び特定核燃料物質の防護に関する規則に定める告示濃度限度は以下の通り

- ・セシウム(Cs)134:60 Bq/L
- ・セシウム(Cs)137:90 Bq/L

手汲み分析結果(8月24日14:00採取分)

- ・セシウム(Cs)137:0.08 Bq/L セシウム(Cs)134:0.06 Bq/L未満